

ごみからの学び。  
そして持続可能な営みへ

京都大学大学院 地球環境学堂

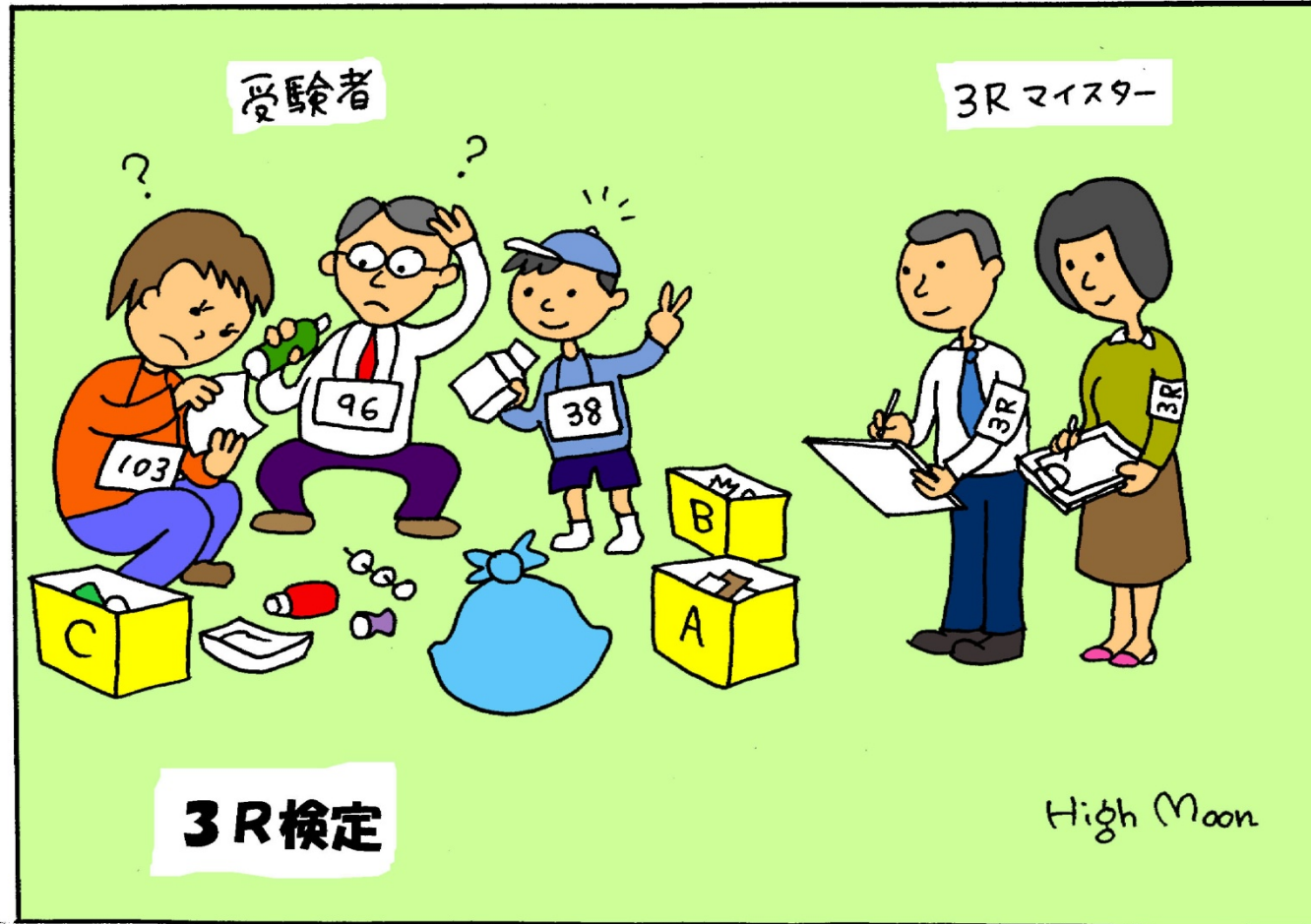
准教授 浅利美鈴

[mezase530@gmail.com](mailto:mezase530@gmail.com)

# リーダー育成のための「3R・低炭素社会検定」

- ・第一回3R検定:2009年1月、第二回3R検定:2010年1月
- ・第三回3R・低炭素社会検定:2011年1月
- ・全国12会場(北海道～九州)

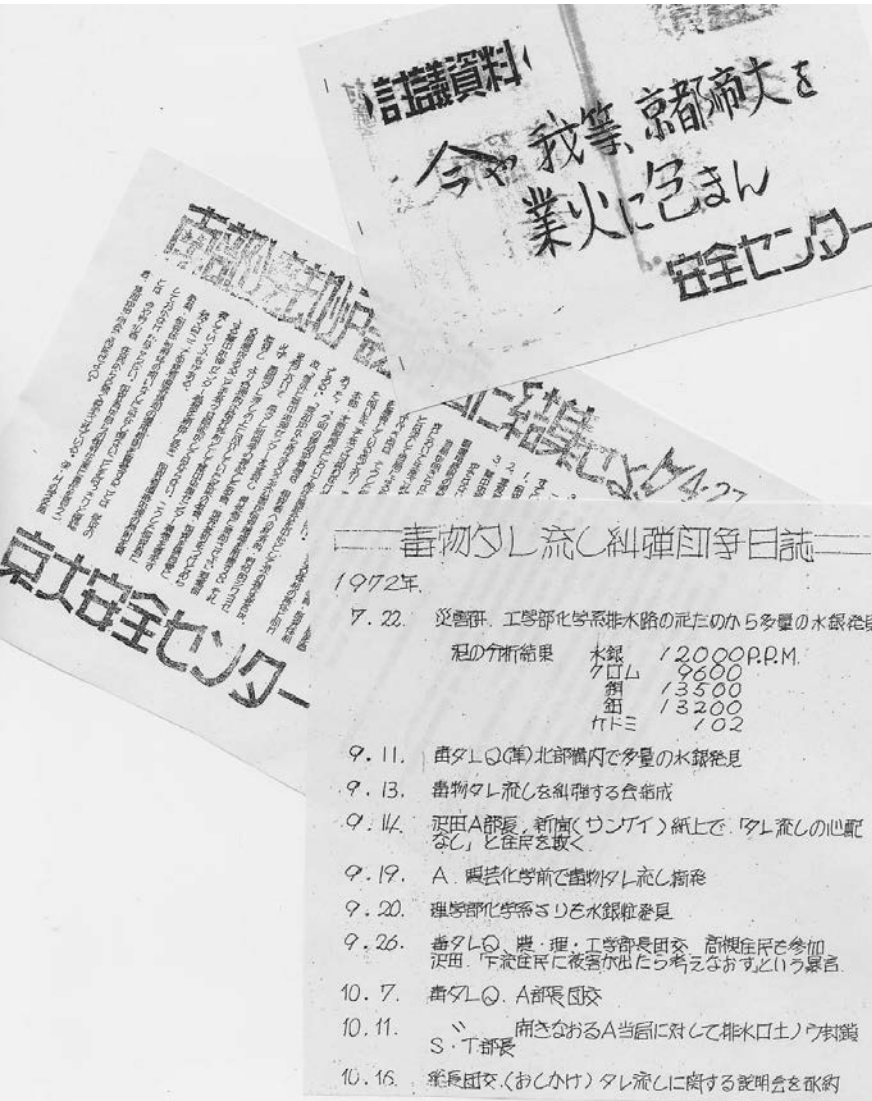
★2019年11月10日 第12回3R・低炭素社会検定



3R検定は実践行動への検定です。

# 学内で廃液処理(原点処理・排出者責任)

## 1972年京大毒たれ事件



学内の実験廃液(有機・無機)は、学内で自ら処理(1970年代～)→1977年センター設立  
※医療系廃棄物の焼却炉もある

# 京都大学環境報告書

& 京都大学環境配慮行動マニュアル～研究室・脱温暖化編～  
・2006年9月～公開



京都大学エコ宣言ウェブサイト  
(環境エネルギー管理情報サイト)のオープン

・2009年7月公開

・<http://www.eco.kyoto-u.ac.jp/>

**全員参加型プロジェクト  
エコ～ると京大**

みんなも来てね!



# 着物のリユース企画「Kistory」



9 社会 4版

着物姿で寄贈者と接する学生 京都市左京区

【第三種郵便物認可】

## キャンパス新景

## 京大

「ほんとにきれい!」「どこに着ていこうかな?」。色鮮やかな着物を身にまとった学生たちは笑顔。2017年12月、京大(京都市左京区)の講堂で、使われなくなった着物を全国から募って学生に寄贈するイベントが行われた。

教授(40)の呼びかけで実現した。17年6月から寄贈を募り、集まったのは100点以上に上った。浅利准教授は「リサイクルの心や伝統文化の大切さを学んでもらいたい」と話す。

## 着物タンスに眠らせず

この日は学生ら約50人が参加。の手紙を渡し、着物法について語り合っ手の川道小百合さん。の生活でも着こなり。生がかかわる2団。環境問題に取りど京大」の顧問、学堂の浅利美鈴准

イベントの責任者で学生団体「京都着物企画」で活動する工学部2年、芳井崇悟さん(20)は「日本のタンスには数億もの着物が眠っていると知り、若者の手で現代によみがえらせたかった」と話す。今後は学生が着ている様子をSNS(交流サイト)に投稿し発信していくという。和服に彩られたキャンパスが古都の新たな魅力になるかもしれない。

福井県坂井市...  
保の九頭竜川の河川敷で...  
19日、釣りに来ていた70...  
つけ、県警に届けられた...  
見つけた...  
明になっていた同県警前...

# 本日の話題提供

- ごみからの学び ～ごみは雄弁
  - 40年間の家庭ごみ細組成調査
  - 災害廃棄物およびストック
  - (家庭系)有害廃棄物
- 持続可能な営みへ ～SDGsのススメ
  - SDGsと廃棄物管理

# 本日の話題提供（持続的な発展に向けて）

ごみからの学びをどう活かすか？

事業基盤の強化・拡大

企業連携・業務提携・M&A

マーケット拡大

成長に資する振興方策の柱：先進的優良企業の育成と普及拡大／排出事業者の意識向上

適正な評価軸の設定による「良貨が悪貨を駆逐する競争環境整備」

産業廃棄物処理業界  
の持続的発展

就労環境の改善と人材育成による「業としての魅力向上」

底上げに資する振興方策の柱：意欲ある企業の支援体制整備／優良先進事例のPR・情報発信

地域との共生

人材確保

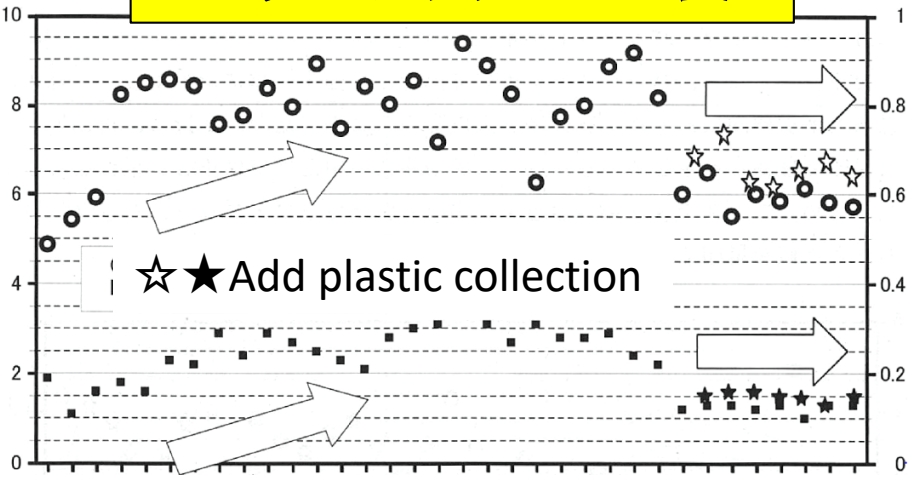
CSR活動

SDGsを活用し、持続可能な営みへ

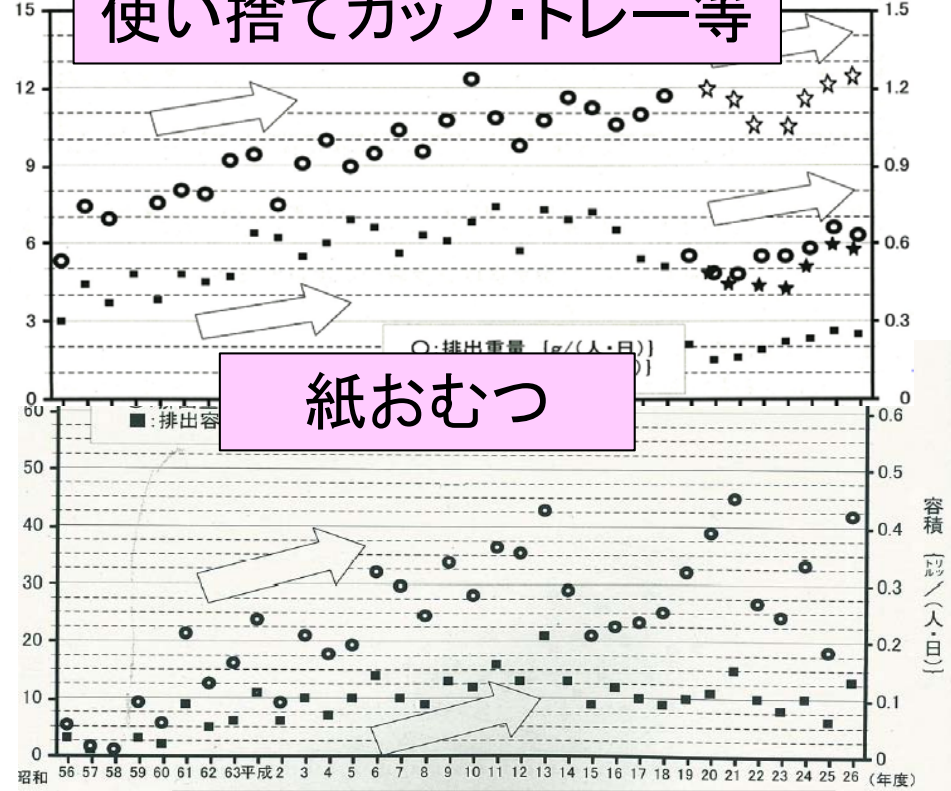
# 使い捨て商品等の排出傾向



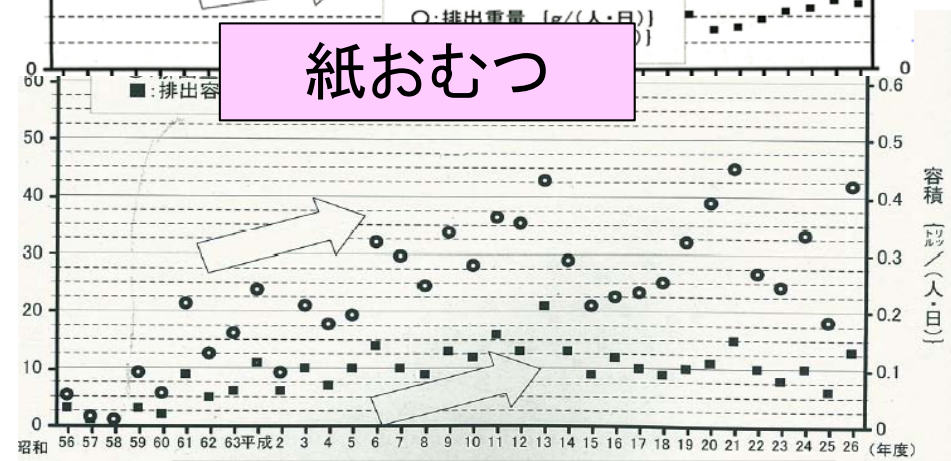
## プラスチック レジ袋



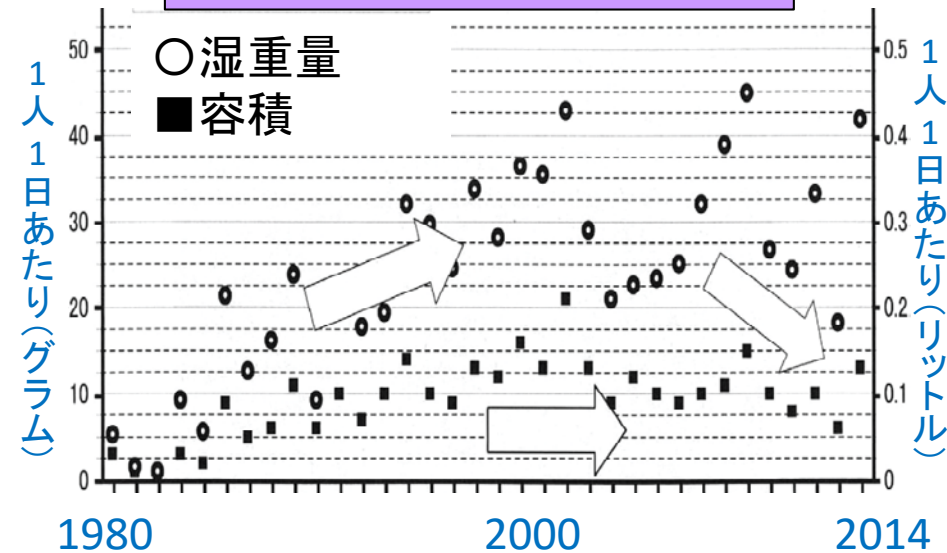
## 使い捨てカップ・トレイ等



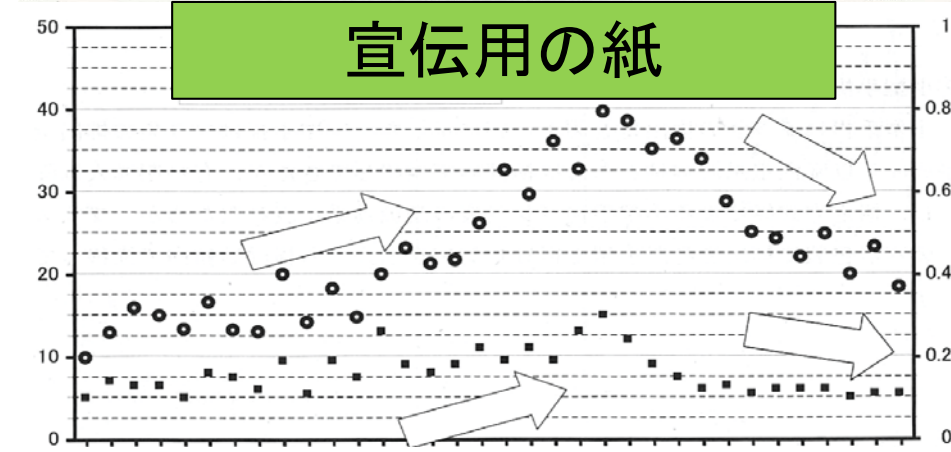
## 紙おむつ



## 手つかず食品

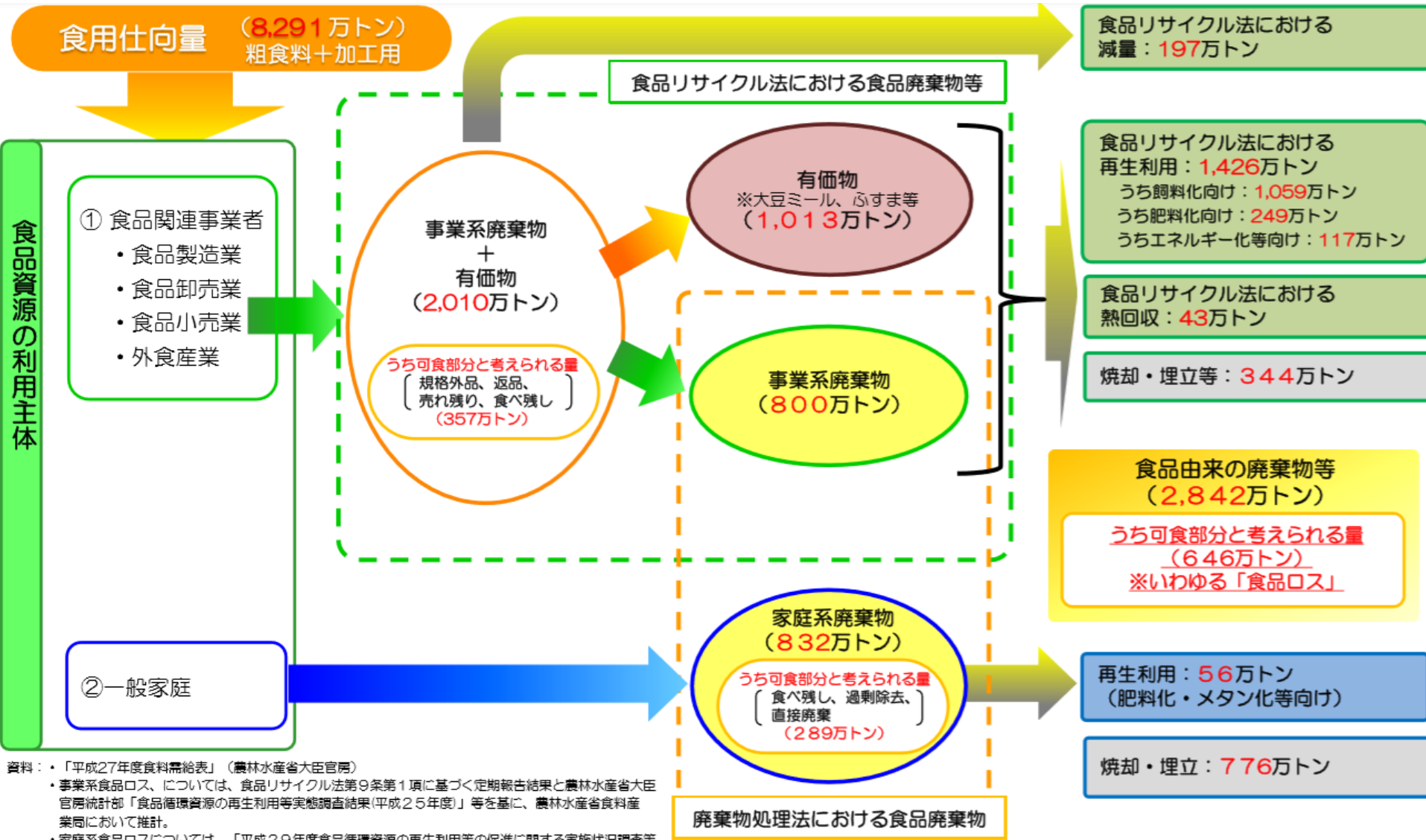


## 宣伝用の紙





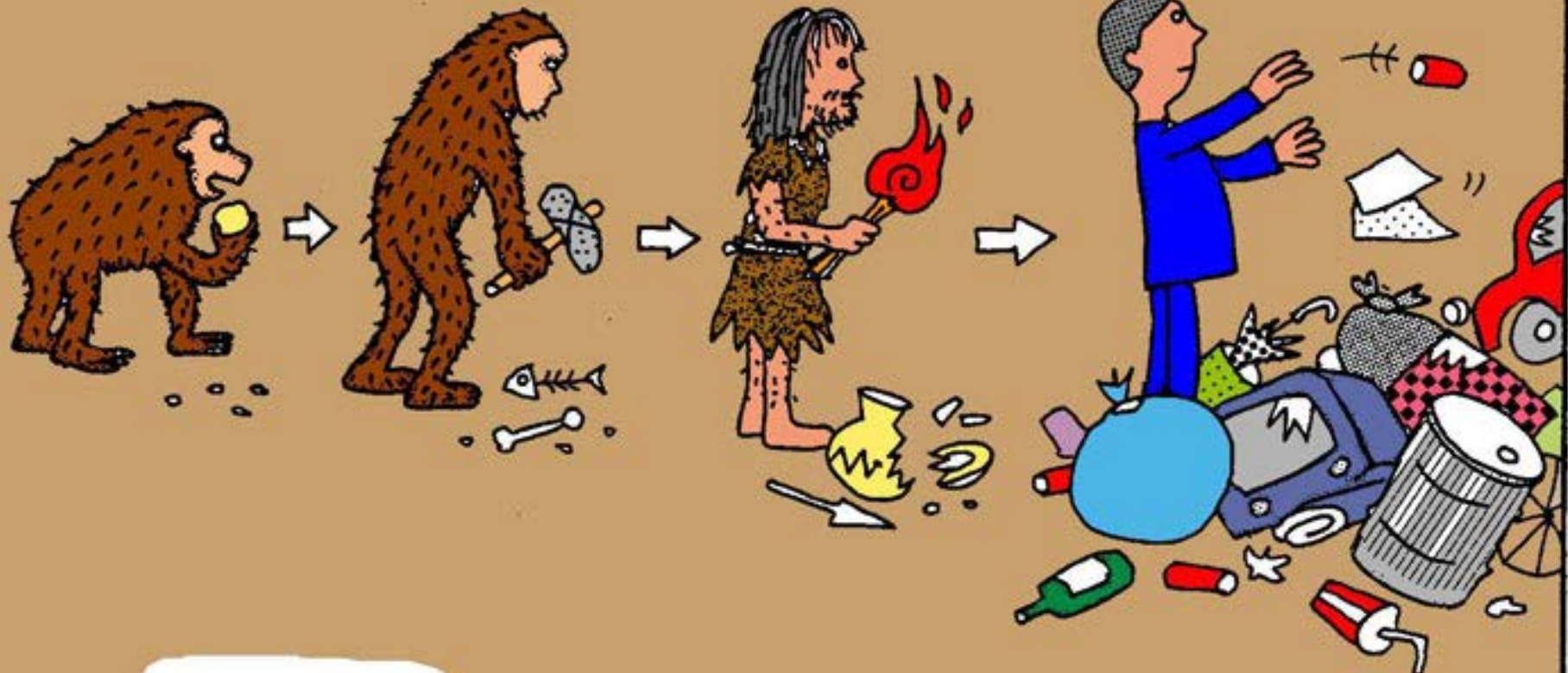
# 生ごみ発生量 (H27年度 農水省)



資料: ・「平成27年度食料需給表」(農林水産省大臣官庁)

- ・事業系食品ロス、については、食品リサイクル法第9条第1項に基づく定期報告結果と農林水産省大臣官庁統計部「食品循環資源の再生利用等実態調査結果(平成25年度)」等を基に、農林水産省食料産業局において推計。
- ・家庭系食品ロスについては、「平成29年度食品循環資源の再生利用等の促進に関する実施状況調査等業務報告書」を基に推計(環境省環境再生・資源循環局)。
- ・事業系廃棄物及び家庭系廃棄物の量は、「一般廃棄物の排出及び処理状況、産業廃棄物の排出及び処理状況」(環境省)等を基に環境省環境再生・資源循環局において推計。

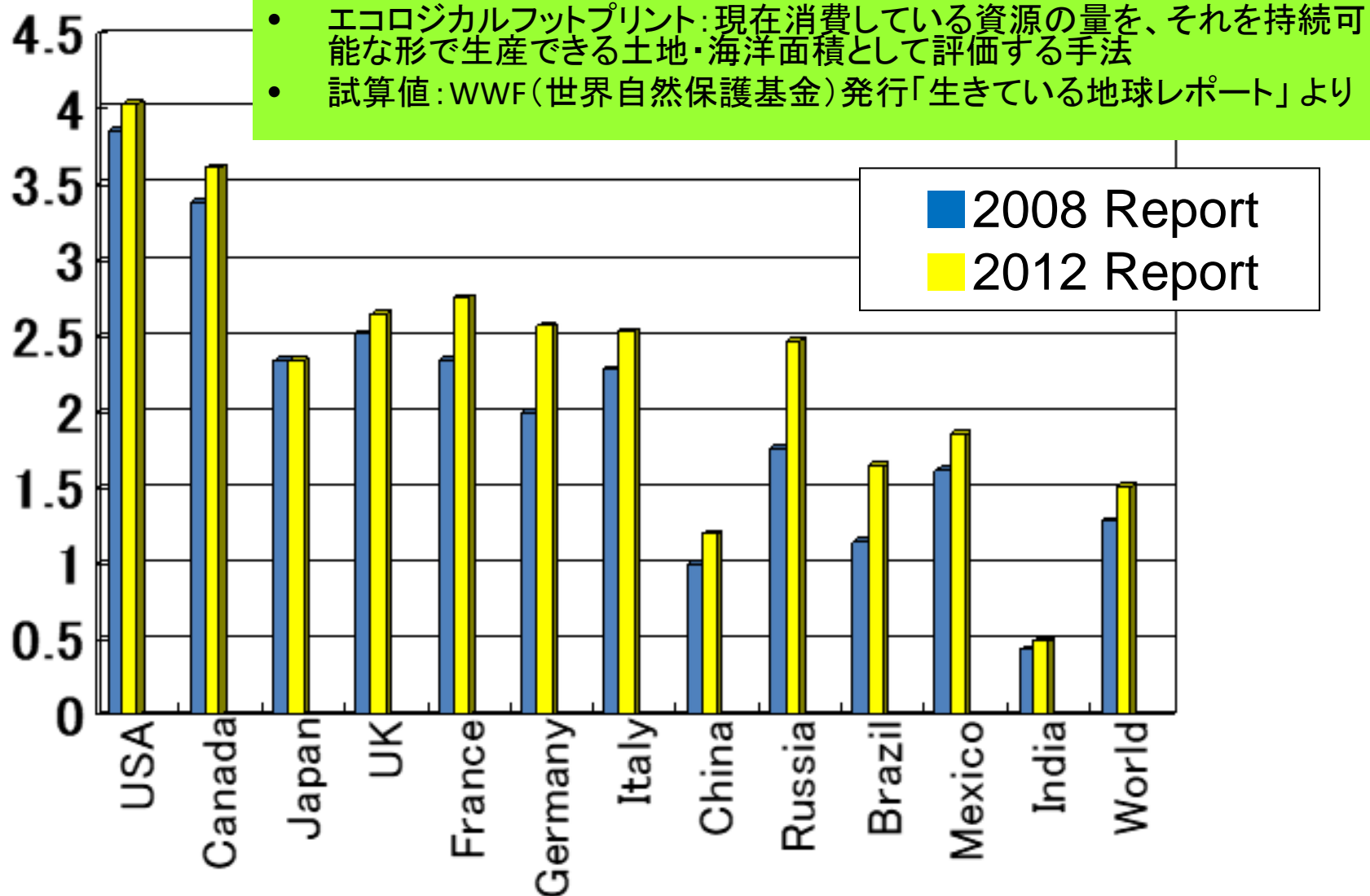
注: ・事業系廃棄物の「食品リサイクル法における再生利用」のうち「エネルギー化等」とは、食品リサイクル法で定めるメタン、エタノール、炭化の過程を経て製造される燃料及び還元剤、油脂及び油脂製品の製造である。  
・ラウンドの関係により合計と内訳の計が一致しないことがある。



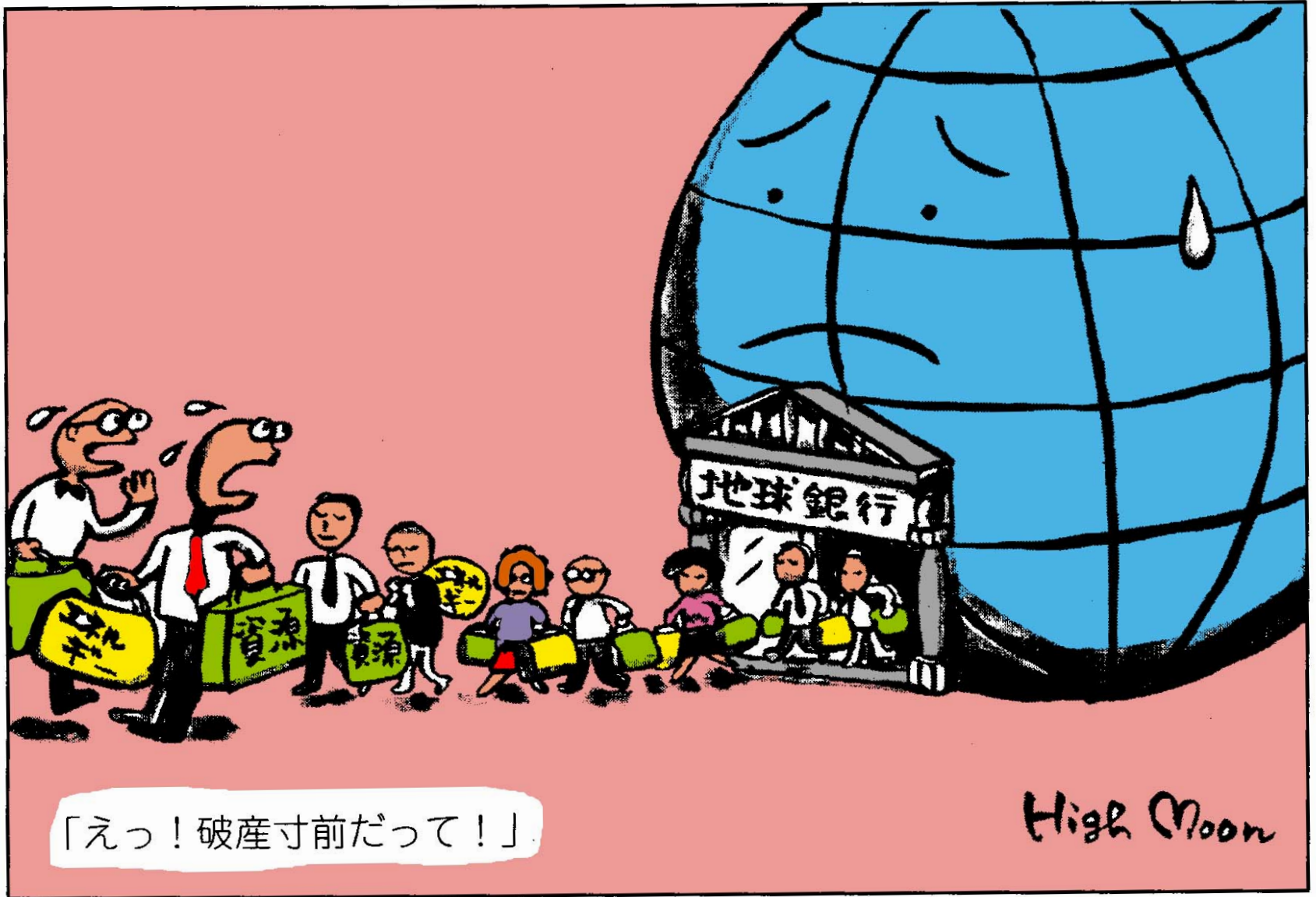
じんるい  
塵類の誕生

High Moon

# エコロジカルフットプリント



このままでは、地球がいくつあっても足りない...



「えっ！破産寸前だって！」

High Noon

# 【参考】災害廃棄物への対応

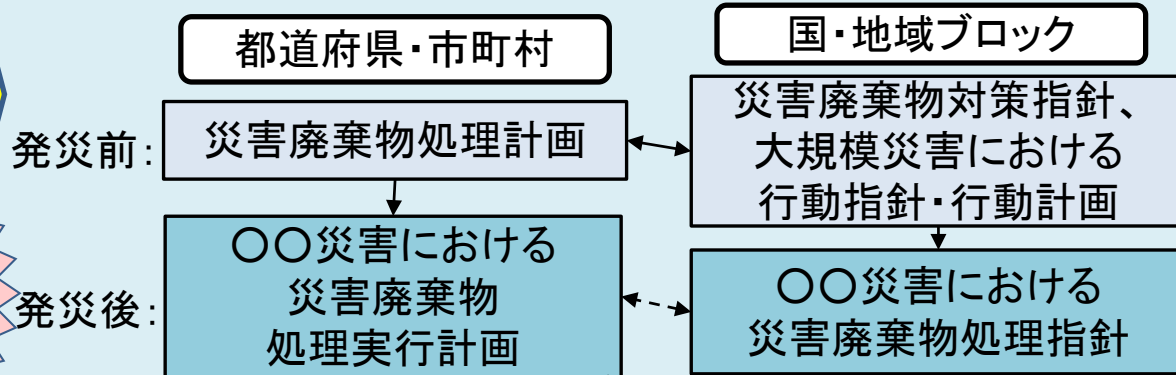


2011年3月11日  
東京電力電気の資料館

～2014年3月まで、分別やり  
サイクル、処理に全力投球

# 災害廃棄物への対応

災害対策基本法と廃棄物処理法を中心とした  
災害廃棄物関連制度や指針等



運用への基盤システム整備が求められている！

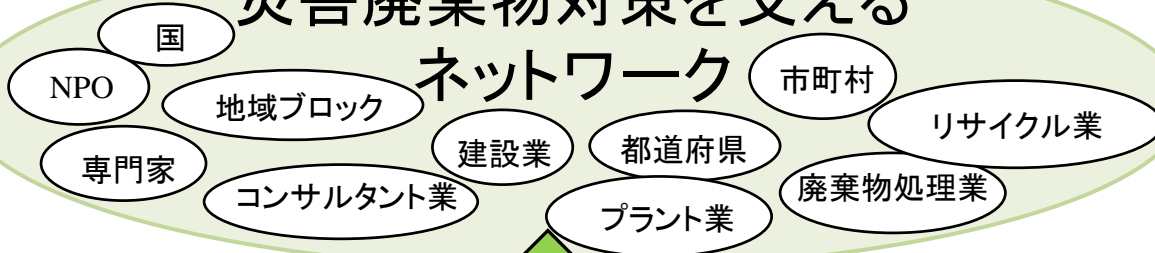
中でも計画作成から始まる事前の備えが重要

東日本大震災  
…処理に長期間を有し、社会問題化

南海トラフ巨大地震…発生量見込みは、東日本大震災の10倍以上

毎年恒常的に発生する災害への対応(頻発・巨大化)

災害廃棄物対策を支える  
ネットワーク



切れ目のない災害廃棄物対策に向けた課題と進化

(1) 今後の中小規模災害における知見蓄積と反映

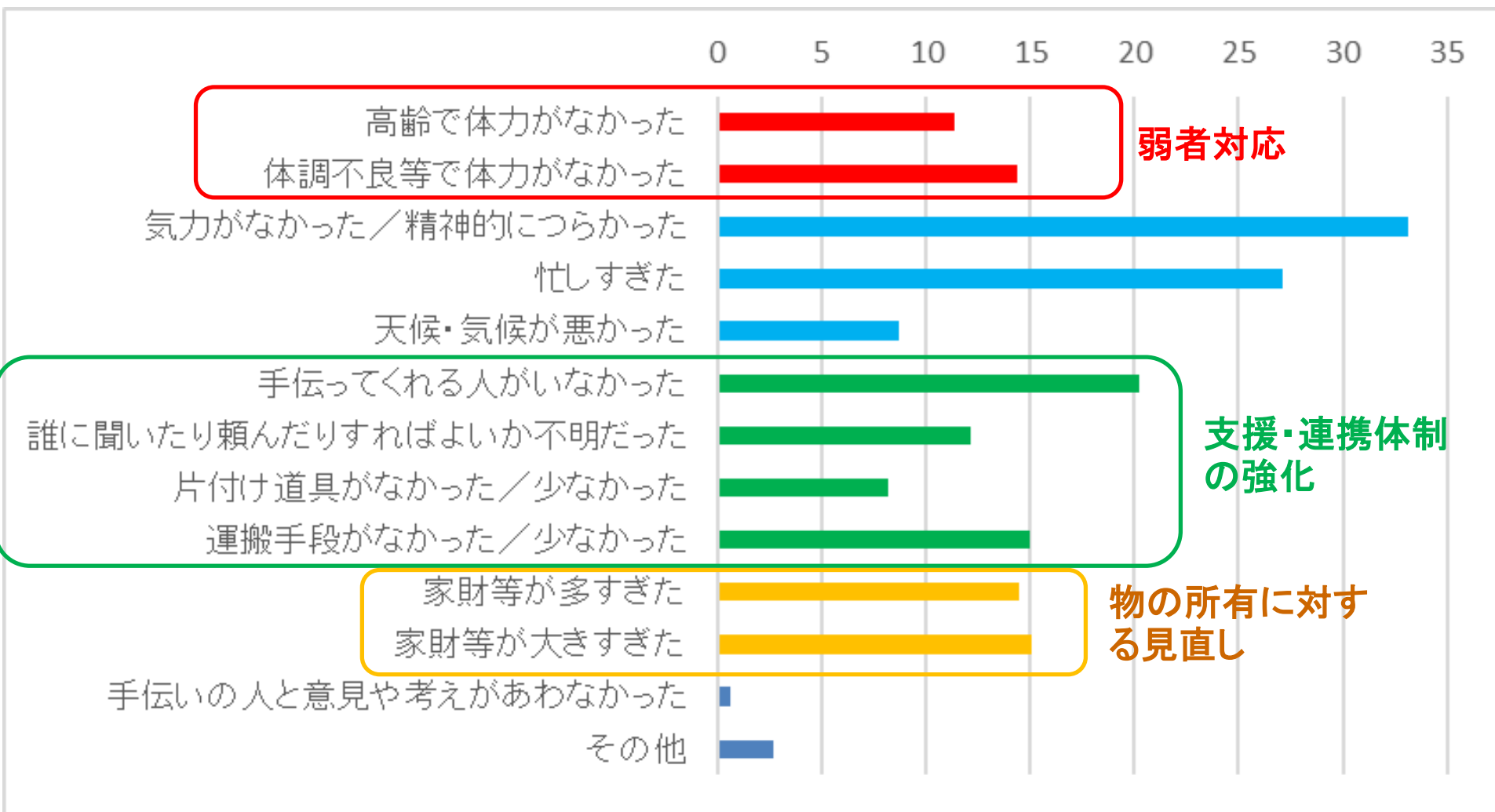
(2) 広域連携が進む制度運用(廃掃法基本方針や交付金との連携)

(3) 社会蓄積されるスック材の3R方策に関する検討

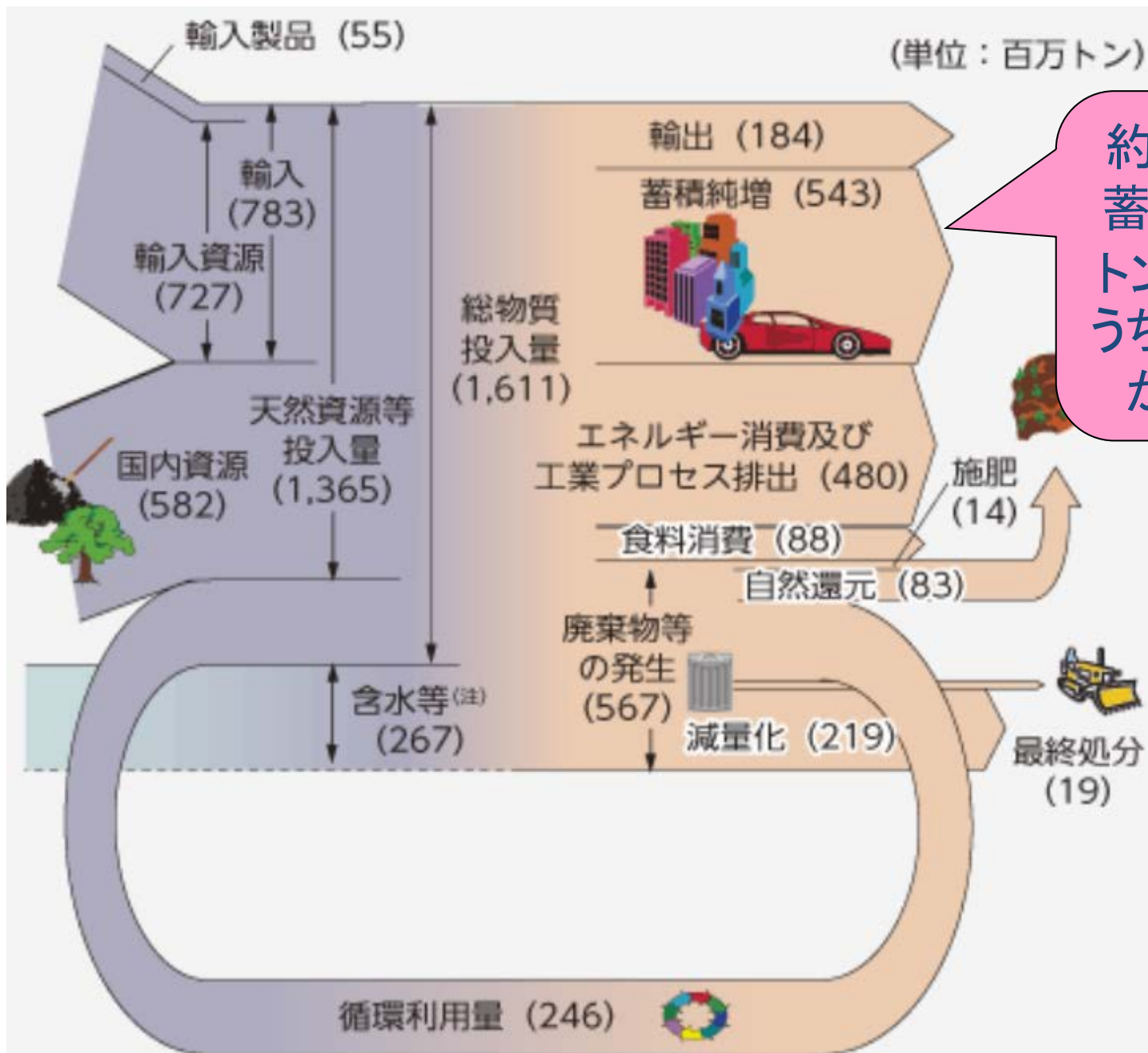
(4) 世界各地の災害対策の経験共有や国際連携

# 災害廃棄物への対応が大変だった理由

被災者へのネットアンケート調査(2018年3月)



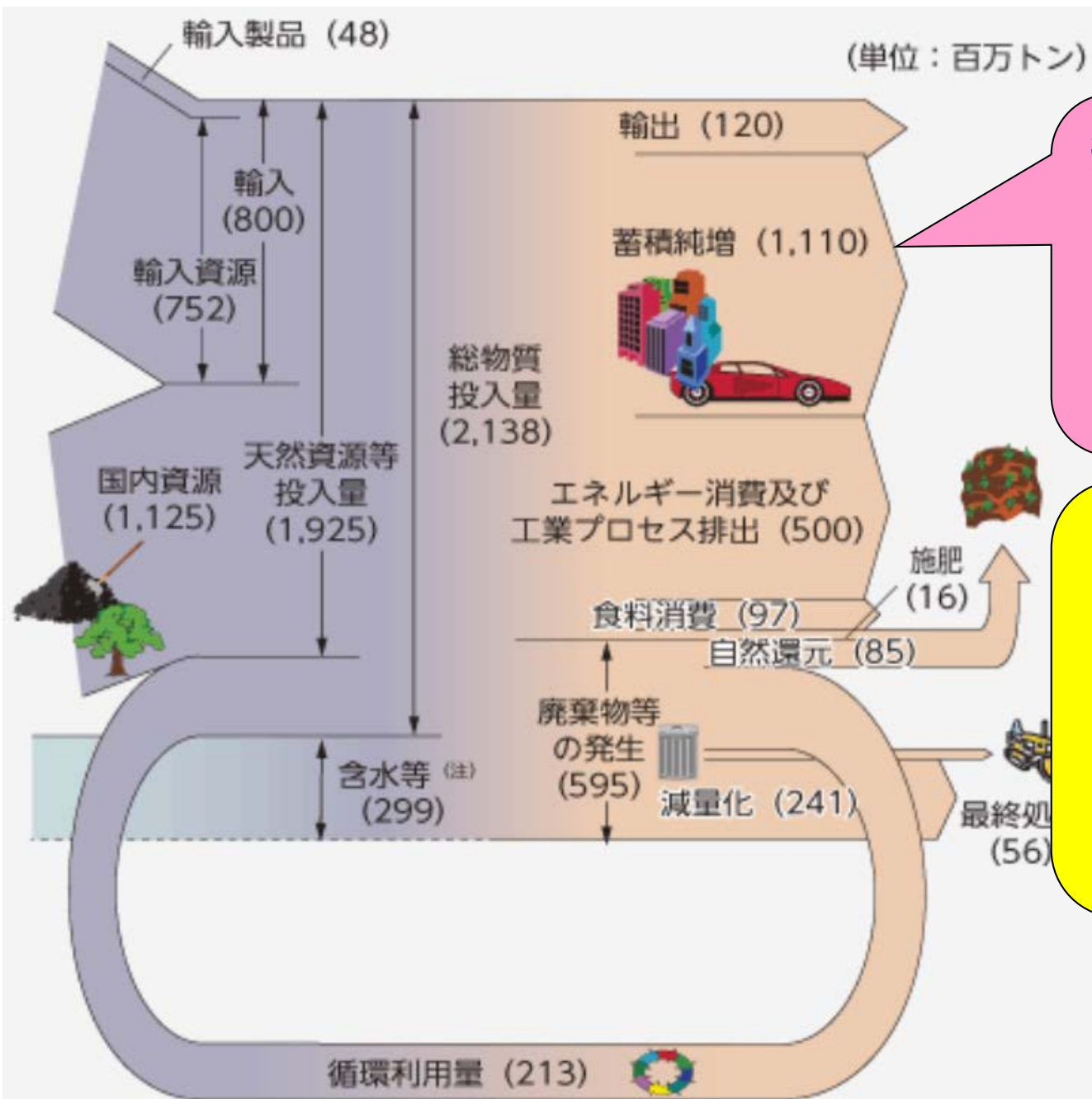
# 日本における物質フロー(2010年度)



約5.4億トンは蓄積、約5.7億トンは廃棄で、うち約2.5億トンが循環利用



# 日本における物質フロー(2000年度)



約11.1億トンは蓄積、約6億トンは廃棄で、うち約2.4億トンが循環利用

【2010年】  
約5.4億トンは蓄積、約5.7億トンは廃棄で、うち約2.5億トンが循環利用

# 積み残された課題「有害・危険ごみ」

- 水銀等への対処本格化
- 家庭系有害廃棄物への取り組みは弱い



熊本市で、スプレー缶などが原因とみられるごみ収集車の火災が相次いでいる。熊本地震後、5日までに昨年震度1年間（1件）を上回る6件が発生。市は「スプレー缶などは特定品目の回収日に捨ててほしい」と呼び掛けている。

火災は、いずれもごみを圧縮する装置が付

## スプレー缶原因？ 収集車の火災6件

熊本市

いた収集車で発生。中身が残ったスプレー缶などが回転板でつぶれた際、漏れたガスが可燃ごみなどに引火したとみられる。全焼したケースはなかったが、先月24日には応援で回収作業をしていた北九州市の収集車が被害に遭ったという。

熊本市は、2014年からスプレー缶など

を「特定品目」に分類し、圧縮装置のないトランクで回収(月2回)している。現在は一部地域を除き、災害(ごみと一般の燃やすごみ)以外の回収を中止しており、市廃棄物計画課は「今は特定品目を出すのを控えてほしい」と話している。

(高橋俊啓)

京都市における  
移動式回収



# ごみからの学び

- 一般廃棄物からの学び ～ごみは雄弁
  - 40年間の家庭ごみ細組成調査
  - 災害廃棄物およびストック
  - (家庭系)有害廃棄物

→社会の変化、積み残し課題の認識
- 産業廃棄物からの学び
  - ごみから・・・社会の変化、排出者の特性など
  - 良きパートナー(排出者など)を得て

# 持続可能な営みに向けて

- SDGsにおける「廃棄物管理」関連事項
- 世界(特に途上国)と日本の状況
- 日本における廃棄物管理の持続可能性
- 参考
  - SDGsの活用事例
  - SDGsに関する意識と行動

# SDGs

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



- 2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」にて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択。アジェンダは、宣言および目標「持続可能な開発目標 (SDGs)」をかけた。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

SDGsにおける「廃棄物管理」関連項目  
～広義な解釈(加筆・省略版)～

# 1. 貧困をなくそう

1.5 脆弱な状況にある人々について、**災害に対する強靱性**を構築

1.5.1 人口10万人あたりの災害による被害者数

1.5.2 GDPとの関係で災害による経済的な直接損失

1.5.3 仙台防災枠組2015-2030に基づく災害リスク削減戦略の採用(国数)

# 2. 飢餓をゼロに

2.4 **持続可能な食料生産システム**の確保等

### 3.すべての人に健康と福祉を

3.9 **有害物質**、並びに大気、水質および土壌の汚染等による死亡と疾病の数を大幅に減少

3.9.1 家庭内及び周囲の大気汚染による死亡率

3.9.2 不衛生な水や施設及び知識の不足による死亡率

3.9.3 意図的でない中毒による死亡率

### 4.質の高い教育をみんなに

4.7 **持続可能な開発のための教育(ESD)及び持続可能なライフスタイル等に関する教育をすべての学習者に**

4.7.1 ESDを(a)国の教育政策、(b)カリキュラム、(c)教員教育、(d)学生評価の全てにおいて主流化⇔12.8.1



# 6.安全な水とトイレを世界中に

6.2 全ての人々に、下水処理施設や衛生施設を普及

6.3 汚染、有害な化学製品と物質の放出の最小化

# 7.エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

7.2 世界のエネルギー・ミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅増加

7.2.1 再生可能エネルギーの割合

7.A 再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的に

7.a.1 再生可能エネルギーに関する研究・開発等への国際的な金融の流れ

# 8.働きがよいも経済成長も

8.2 高いレベルの経済生産性を達成	8.2.1 労働者あたりの実質GDPの年間成長率
8.4 消費と生産における世界的な資源効率を漸進的に改善し、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組に従い、環境悪化から経済成長の切り離しに努力	8.4.1 <b>マテリアルフットプリント</b> (総量、一人あたり、GDPあたり) 8.4.2 <b>国内の材料消費</b> (同上) ⇔12.2.1&12.2.2

## 9.産業と技術革新の基盤をつくろう

9.b 産業の多様化や商品への価値の付け加え	
------------------------	--

# 11. 住み続けられる町づくりを

<p>11.5 脆弱な状況にある人を主対象に、水や<b>災害</b>を原因とする死者数や被害、そして経済損失を大幅に削減</p>	<p>11.5.1 人口10万人あたりの災害による被害者数 11.5.2 災害による経済損失</p>
<p>11.6 大気の水質や<b>廃棄物管理</b>など、都市の一人当たりの環境上の<b>悪影響</b>を軽減</p>	<p>11.6.1 <b>都市ごみの中で、定期回収され、適切に最終処理される固形廃棄物の割合</b></p>
<p>11.b <b>資源効率</b>、気候変動への緩和と適応、<b>災害</b>に対する強靭さの計画採択や総合的なリスク管理の促進</p>	<p>11.b.2 国の防災戦略に沿って地方の防災戦略を採用・実施している地方府の割合</p>
<p>11.c 途上国への持続可能／強靭な建造物開発支援</p>	

# 12. つくる責任      つかう責任①

12.1 持続可能な消費と生産パターン(SCP)に関する計画枠組の実施

12.1.1 SCPに関する国家行動計画や内容主流化を行った国の数

12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用の達成

12.2.1 **マテリアルフットプリント**(総量、一人あたり、GDPあたり)

12.2.2 **国内の材料消費**(同上)

↔8.4.1&8.4.2

12.3 小売と消費で世界全体の一人あたり**食料廃棄量を半減**+生産・サプライチェーンでの**食品ロス減少**

12.3.1 世界的な食品ロス指標

# 12. つくる責任      つかう責任②

12.4 製品のライフサイクルを通して、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を達成し、環境放出を大幅削減

12.4.1 有害廃棄物及び他の化学物質に関する国際的な多国間協定の当事国数  
12.4.2 処理種別の一人あたり有害廃棄物及び処理された有害廃棄物の割合

12.5 3Rを通じて、廃棄物の発生を大幅削減

12.5.1 国の再生利用率、再利用された物質重量

12.6 大企業や多国籍企業に対し、持続可能な実践を採用し、自らの定期報告に持続可能性に関する情報を取り入れることを推奨

12.6.1 持続可能性に関する報告書を発表している会社の数

# 12. つくる責任      つかう責任③

12.7 持続可能な公共調達の促進	12.7.1 持続可能な公共調達・行動計画実施国数
12.8 あらゆる場所の人々が持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルについての情報と意識を	12.8.1 ESDを(a)国の教育政策、(b)カリキュラム、(c)教員教育、(d)学生評価における主流範囲⇔4.7.1
12.a 途上国の科学・技術的な能力向上支援	12.a.1 支援金額
12.b 雇用を創出し、地方の文化と製品の促進により、観光政策を推進	12.b.1 政策・計画数
12.c 化石燃料に対する非効率な補助金の合理化	12.c.1 GDPの一単位あたり・化石燃料に関する国の総支出の割合としての化石補助金の総額

# 14.海の豊かさを守ろう

14.1 2025年までに、**海洋ごみ**や富栄養化等、あらゆる海洋汚染、とりわけ陸上活動からの汚染を防止し、大幅に減らす

14.1.1 沿岸の富栄養化指数及び浮遊プラスチック破片度数

# 15.陸の豊かさも守ろう

15.a 生物多様性と生態系を保全し、**持続的に利用**するために、あらゆる資源からの財政的資源を動員し、大幅に削減

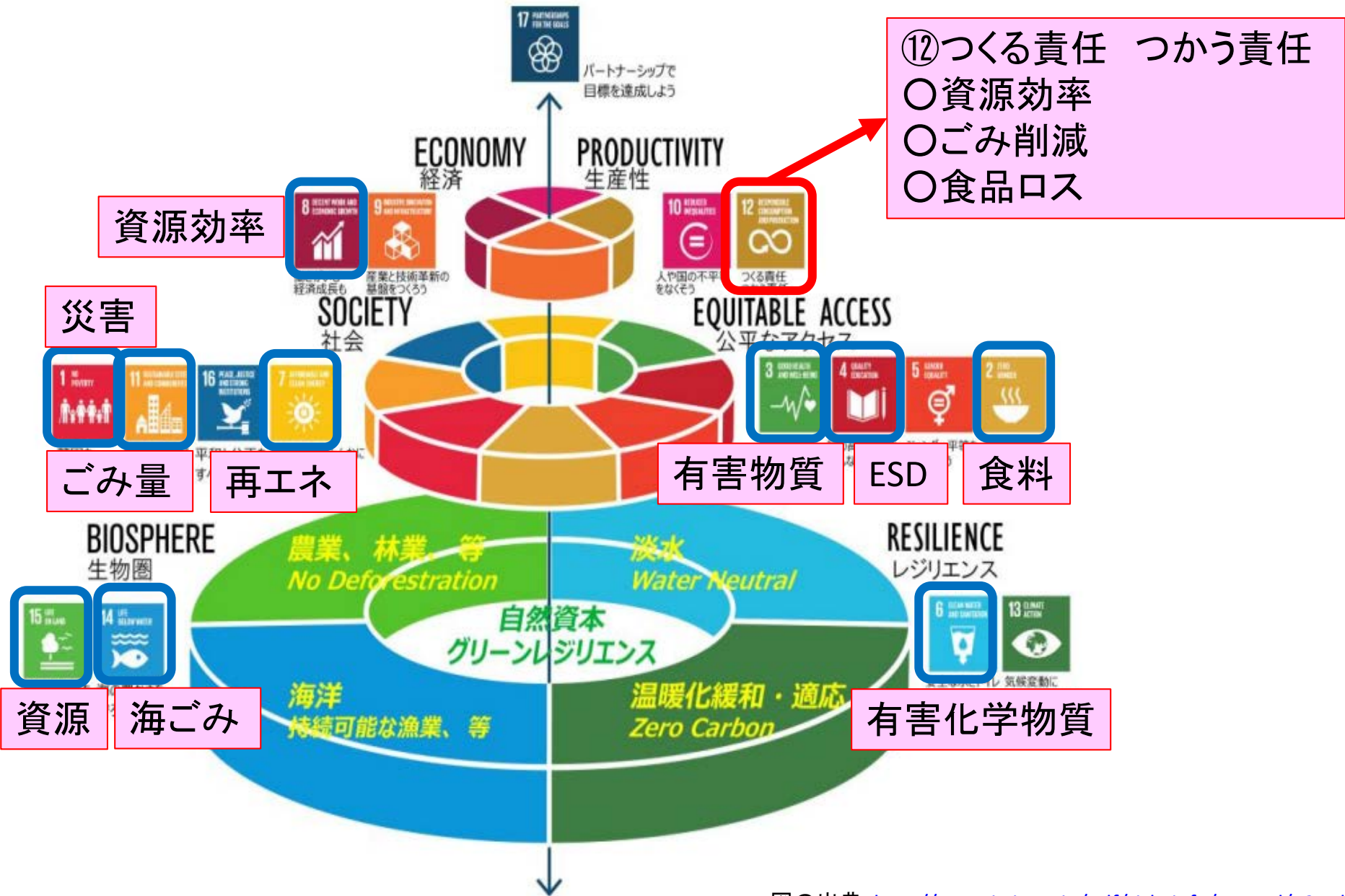
15.a.1 生物多様性と生態系の保全と持続可能な利用に関する政府開発援助と公的支出

# SDGsにおける廃棄物管理(キーワード)

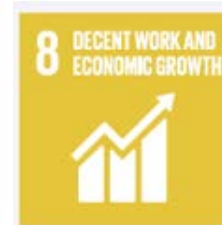
- 資源効率: 資源効率、自然・地元資源
- ごみ発生: ごみ削減、食品ロス、海ごみ
- ごみ処理: 回収、災害、再エネ
- ごみの質: 有害物質、有害化学物質
- 基盤的取り組み: ESD、情報発信、食料政策



# SDGsにおける廃棄物管理（キーワード）



# 参考：日本のSDGs取組に対する評価（2018年）



## SDG12 – Responsible Consumption and Production

E-waste generated (kg/capita)	17.3	●
Anthropogenic wastewater that receives treatment (%)	57.8	●
Production-based SO <sub>2</sub> emissions (kg/capita)	6.9	●
Net imported SO <sub>2</sub> emissions (kg/capita)	12.1	●
Reactive nitrogen production footprint (kg/capita)	36.4	●
Net imported emissions of reactive nitrogen (kg/capita)	259.9	●
Non-Recycled Municipal Solid Waste (MSW in kg/person/day)	1.4	●

日本の達成状況は156か国中15位（2017年：157か国中、11位）

出典：<http://www.sdgindex.org/assets/files/2017/2017-SDG-Index-and-Dashboards-Report--regions.pdf>

様々な主体と、  
SDGsをテーマに、  
ESDやEMSに取り組む

- ※ESD: Education for sustainable development (環境教育)
- ※EMS: Environmental Management System (環境管理)

# 京都市立安朱小学校との取り組み

- ①ミニレクチャー
- ②SDGsノートをつけてみよう！



えすでいーじーず  
**SDGsノート**

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	<b>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</b> 2030年に向けて世界を良く変えるための17の目標

ノート記載にあたっての注意点

1. 何かを書いたときは、必ず日付も書いてください。新聞の切り抜きを貼り付けたときや、誰かから話を聞いたときなども、日付を書いておいてください。  
(例) 9/4 今日から、食べ残しゼロを始めました。9/5 早くも残してしまいました・・・
2. 目標の順番に記載していく必要はありません。やりやすい行動からクリアしていったり、難しい行動から挑戦していったり、一通り行動してみたり、自分のスタイルで取り組んでみてください。
3. どうしても解決のための行動ができないものについては、その目標について調べてみたり、考えてみたりした内容を書いても良いです。
4. 行動してみて疑問に思ったことなども、メモしておきましょう。
5. 正解は1つではありません。他の人が考えないような、ユニークな行動も考えてみましょう！

課題 1

課題 2

お名前：

、ノートを書き始めた年月日：

関係する新聞の切り抜きをはったり、調べたことを書いたり、自由に使いましょう。

課題1に、9月末までの課題を記入。課題2は次回・・・

『普段の生活の中で、実践したこと、新たに知ったことを書く』

名前と今日の日付を書こう！

# 京都市立安朱小学校 SDGsで地域の未来を考えよう！

見光客がたくさん  
昆沙門天 < 用いむらじまに > 滝 ゴミがうかんでいない。こぼれていない。

地域での取り組み  
のおかげアサギマダラ

大きな岩 すわって休けいできる

注意シール 安全のために地域の人がはった

水

安心できる  
ところどころに  
いがある。

仕事帰りの人々

ミカンの木 沖縄県から来たちゃんともきれいなちゃん

自然を残す気持です

学校の花

手入れされている。

さくかあったところに木がめりこんだ 注意のがんばり

比ののためのもの 思いやり

SDG icons: 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17

地下道の改札

地下道

京阪電鉄大津線

東海道本

路町

取町

SDG icons: 3, 4, 11

# 京都大学でのSDGs(持活)実践 1日1「SDG」生活→自分たちにできること提案

日	項目	達成SDG	備考、感想
2/8(火)	クーラーを使わず扇風機で(以降毎日)	7	7 熱中症?
3	食卓には季節の野菜トマト、キュウリを多用(以降トマト、キュウリがスーパーにある時は毎日)、体も冷やせる風扇を使う 扇風機使わない	2、7、12-7 12-5、15-2	達成
4	スマホとパソコン使わない時は電源切る(以降毎日)	7	7 2度ほどつけっぱなしに...
5	コピー機押ししか使わないので普段はコンセントを抜く(以降毎日)	7	
7/8/9(水)	入浴中洗面所の電気要らない、消しておくシャンプーは少なめに 1プッシュ(今まで2プッシュくらいだった、以降は毎日)		
8	入浴中に使う水の量 風呂桶1杯分に抑えることを目指す(思い出した時実行 以降1週間に3-4回)		
9	家自分のみの時は扇風機もつけない 乾き物で物を干す 窓際ならば電気要らない		
10	車のとき汁ベランダのトマトにやる		
11	リビングの電気つかう所しか消けない		
12	スタンドチキン風のおかず スライス使っているから長持ち 3日に食って食べられた		
14	残り物で弁当を作る (以降定食中 ご飯+バナナだけのことも 5日		



2017/08/08  
持活生活スタート  
まずはSDGsの17の目標を  
順番に  
① 最も身近な目標  
3, 6, 7, 11, 12, 14  
(11, 12, 14については7日に  
11, 9, 11, 6, 12, 3, 12, 5,  
12, 6, 14, 1, 14, 2あたり)

② やや個人で取り組める目標  
1, 2, 4, 5, 8, 14, 15

③ 個人での取り組みが困難  
2, 10, 16, 17





# エコ〜ると京大 2018

## 初夏の陣・5月編

ほぼ全て参加費無料！各イベント共通申込先アドレスはリーフレット下参照！

毎年、全員参加型の環境配慮型・サステナブルキャンパスの構築を目指して行うキャンペーン「初夏の陣」。今年は5月から6月にかけて展開します。昨年度スタートした持活（持続可能な社会や暮らしを考える）プロジェクトの進化・深化を目指す企画も盛りだくさん。SDGs（国連の持続可能な開発目標）の17項目との対応もチェックしながら、未来と世界につながる2ヶ月を演出します！

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
#SDGs #SDG #SDG17

**←持活プレ調査実施中！**  
たった5分で終わる上、参加して頂いた方にはもちろん「おすすめの自習室マップ」をプレゼント！また抽選で豪華景品も！

**キャンパスエコツアー**  
普段は、見ることにできないところまで潜入！

日時	5月22日(火) 16:30～18:00
場所	京都大学国際科学イノベーション棟(本部)ほか
集合場所	国際科学イノベーション棟 1F エントランス
対象	学内の方ならどなたでも可
申込時件名	「キャンパスエコツアー参加」

**Conserv' Session**  
映画『Home』上映会 (日本語字幕付)

日時	5月22日(火) 17:30～19:30
場所	京都大学北部キャンパス 理学部セミナーハウス
映画紹介	航空写真の視点から撮影した50ヶ国以上の景色を通じて、まだ知らない地球に会えるドキュメンタリー。
申込不要	ご自由にご参加ください！

**健康 DAY**  
開催日 5月23日(水) 10:00～19:00 @京大生協ルネ 1階オープンラボ

あなたは「健康」ですか？健康の厳密な定義は難しいところだと思います。京大では昨年、ヘルシーキャンパスを推進しています。日々、いろいろな方が健康について考えています。今回はそのヘルシーキャンパスとエコ〜ると京大・持活プロジェクトとのコラボ！午前中は、京大の看護部さんによる健康についてのお悩み相談、ヨガ・気功・太極拳の体験ができます！健康に関する書籍も常設。日ごろと違ったアプローチで健康について考えてみませんか？※時間によってプログラムが異なります。

**ミニイベント情報**  
夜ヨガ 開催日：5月25日  
集合時間：18:20(約1時間の予定)  
集合場所：クスノキ前  
申込時件名：「夜ヨガ参加」

主催：エコ〜ると京大実行委員会(事務局：京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター)  
メンバー：京都大学環境安全保健機構、京都大学総務部、京都大学の環境・サステナビリティを考える100人会議、京都大学地球環境学連携教育論分科、京都ホストファミリー協会(KAHF)、Conserv' Session、日本環境保護国際交流会(J.E.E.)、布遊工房、京都着物企業、(一社)びっくりエコ発見所学生コアメンバー：安藤悠太、小谷和也、土村陽、常光俊行、Katalin Kuntner、Ting Li、Isaac Omondi、真野彰、山本和宏、西岡勉哉、栗田登斗、上田知弥、久保文乃、西道進、津田大和、奥野真水保、後高友里、西本早希  
支助・協力：京都大学地球環境学、京都大学大学院総合生存学、京都大学生協、一般社団法人セイラズフォージ日本支局、(株)興広、ヒューリック(株)、ほか環境系企業・団体・自治体等

**【各イベント共通申し込み先】E-mail: ecocheck@eprc.kyoto-u.ac.jp**  
こちらに件名を「(イベントタイトル等)の申込」とし、本文に氏名・所属・学年(教職員の方はその旨)を明記してご予約ください！  
エコ〜ると京大事務局：京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター  
TEL 075-753-7703 FAX 075-753-7710

最新情報は、こちら  
**WEB** **facebook**

# オープンラボ@ルネ

5/8(火) → 5/30(水)

※11:00～19:00(休憩等で席をはずしている場合あり) ※土日を除く

恒例企画「オープン・ラボ」。京都大学で環境問題を研究されている先生方が、日替わりで京大生協ルネ1Fに登場します。研究成果の発表や進路相談など先生方との気軽なコミュニケーションが楽しめます！

月	火	水	木	金
	8 山敷先生	9 本川先生	10 バッグ KAHF	11 バッグ KAHF
14 磯部先生	15 山敷先生	16 酒井先生 浅利先生 京大変人	17 浅利先生 AIESEC	18 AIESEC バッグ
21 バッグ	22 野中先生	23 健康 DAY (前席参加)	24 野中先生	25 本川先生
28 AIESEC バッグ	29 山敷先生 感星観察	30 角山先生 酒井先生 福島報告	31 角山先生	

浅利 美鈴 先生  
  
地球環境学  
環境教育 / 環境配慮型キャンパス・ライフスタイル / ごみと循環

AIESEC 京都大学委員会  
  
異国の解消に向けて(ウガンダの農村部にて、ファンドレイジングなどを通じて、現地農家の収入を上げるためのシステム作りにも携わる)

磯部 洋明 先生  京都市立芸術大学美術学部 太陽物理学 / 宇宙プラズマ / 宇宙人類学 / 宇宙論理学	酒井 敏 先生  人間・環境学研究科 地球気体物理学 / フラクトル日よけ / 京大変人	角山 雄一 先生  放射性同位元素総合センター 分子生物学 / 放射線生物学 / 放射線学習支援 / 放射線リスクコミュニケーション人材育成	野中 鉄也 先生  工学研究科 海の生態系回復 / 植物の生育促進 / 野菜の栽培技術 / ミツバチ	本川 雅治 先生  総合博物館 野生動物 / 多様性のアジアカ国間連携 / 博物館学 ★エコラボ実践	山敷 庸亮 先生  総合生存学館 太陽系外惑星系系化 / 水惑星の形成条件 / 水資源 / 水環境
--	---	---	---	--	--

**世界に一つのマイバッグを！**  
開催日：10(木)・11(金)・18(金)・21(月)・28(月) 11:00～17:00

マイバッグを自分でデザインして、アイロンがけすれば完成！参加無料ですが、持活プレ調査に参加して頂くことが条件です。  
協力：日本環境保護国際交流会(J.E.E.)、布遊工房

お家、研究室のごみ分別大丈夫？  
**「ごみ分別の見本市」**

研究室からでる大量の紙、破ボール、プラスチックなど正しく分別、再利用・リサイクルしていますか？お家と大学で行うごみ分別を比較してみましょう！ごみ分別のプロが正しい分別方法、ごみ減量法を伝授します。【常設展示 / 適宜解説】

**チャリティーフリマ**  
開催日：ほぼ毎日  
食器、文房具、本、ブランド服などを10円から販売し、途上国教育支援。

**京都ホストファミリー協会 KAHF**  
開催日：5 / 10(木)・11(金)  
京大で学んでいる外国人留学生と交流するホストファミリーの会。日本人・留学生とも、お気軽にお立ち寄りください。

**京大変人酒場** 京大変人  
開催日：5 / 16(水) 放課後  
場所：4 共前広場(雨天中止)  
京大では「変人」はホメ言葉です。自分を「ちょっと変」と感じている京大生のみならず、京大の変人を知りたくする酒井先生とちょっと変わったジビエを食べながら話せる機会を提供します！

**感星観察ナイト**  
5 / 29(火)の夜  
※19:00までルネのオープンラボでご確認ください！  
講師：山敷先生

6月もイベント満載！例えば…

**特別講義 「海洋資源・環境の保全とブルーシーフード」**  
【講演者】セイラズフォージ日本支局理事長 井橋美奈子

日時	6 / 1 (金) 13:00～15:00	言語	英語(日本語での質問等も可能)
対象	どなたでも可【先着20名】	申込時件名	「BSF 講義の申込」
場所	京都大学総合研究5号館(吉田本部構内) 2F 大講義室		
概要	京都大学でも船高カレイに採用して活動中。その活動背景について学ぶことができます。※京都大学大学院地球環境学連携の講義(環境マネジメントセミナー)の一環でもあります。特別に聴講していただけます。		

井橋 美奈子 さん



# エコ～ると京大2018



## 初夏の陣 6月編

各イベント共通申込先アドレスはリーフレット下参照!

毎年、全員参加型の環境記憶型・サステナブルキャンパスの構築を目指して行うキャンペーン「初夏の陣」。5月のルネでのオープンラボ等に引き続き、6月はSDGsに関連したイベントを行います!



### ←6月末まで、持活プレ調査実施中!

参加していただいた方にはもちろんおすすめの自営業マップをプレゼント!  
さらに抽選でお米やUSBも当たる!

### 特別講演・交流会

## 「持続可能性への挑戦」 6月29日(金) @北部食堂2階



### ■ 第1部 (16:30～18:00)

**学問はどう生きるのか～滋賀県発!科学者と環境政策を繋ぐ**  
長く、環境研究・政策を牽引し、『滋賀県発!持続可能性への挑戦』の著者でもある初代地球環境学術学会長の内藤正明先生と前滋賀県知事・藤田由紀子さんをお招きし、時を巡るにつれて変化する「環境問題」に対して、大学・研究機関で培った学問を自治体に広く適用される政策に活かす術をご講演いただきます。学生によるトークセッションもありです!



### ■ 第2部 (18:15～20:30・食事つき)

### 京大生はどう生きるのか～京大発! SDGsで企業と学生を繋ぐ

企業や自治体にとどまらず多様な社会の場で活躍する「先輩」にも加わっていただき、様々な生き方/働き方を牽引する方々と、学生との交流の場を演出します。

参加企業や団体の詳細はこちらから!参加方法:事前メール申込(件名「6月29日特別講演・交流会の申込」)



あなたも国際社会の一員に!

## 模擬国連 6月28日(木) 16:30～20:30 [食事つき]

場所	京都大学本部構内 工学部物理系教養棟 東奥の会議室
内容	2人1組になって「今のライフスタイルを維持・向上できるのか?」について議論します。(基礎資料提供) <b>All English</b> で自分の英語・コミュニケーション・発信力を鍛えましょう!
参加方法	事前メール申込 (件名「模擬国連の申込」)

### 自給率について考えよう! 日本のご飯を味わう会

模国連の作戦タイム中に提供する食事もこだわりの逸品!自給率についてこだわった食事をとりながら、食料自給率について考え、普段の食事との違いやライフスタイルも、改めて考えてみてください。

## フェアトレードコーヒーから 貧困・教育を考える



日時	6月7日(木) 18:20～19:50
場所	農学部総合館 W422
講師	辻村英之先生(京都大学農学研究所 教授) 須藤祥音さん(アイセック 京都大学委員会)
持ち物	マグカップ (コップ貸出しは10円)
参加方法	事前メール申込 (件名「コーヒーから」)

辻村先生が研究のかたわら実践している、タンザニア・キリマンジャロのルカニ村におけるフェアトレードコーヒーの役割に関する講演です。このコーヒーは現在カンフォラでの販売中です。講演のときに飲むことが出来るので、Myマグカップを持参してご参加ください。フェアトレードを知って、貧困や教育に關して考えてみませんか?また、講演の際、ワガワガでインタビューを行ったアイセック京都大学委員会の須藤さんも話題提供します。海外インターンに興味のある方は是非!



## 映画 『セプテンバー 11』



日時	6月21日(木) 18:30～21:00
場所	京都大学本部キャンパス 物理系教養棟 東奥の会議室
参加方法	事前メール申込 (件名「セプテンバー 11」)
参加費	無料

SDGs目標16にちなみ、岡真理先生の選んだ映画を見て平和と公正について考える会です。好きなドリンク片手にゆったりみましょう!



映画紹介:世界各国を代表する11人の映画監督が「9・11」をテーマに「11分9秒01フレーム」という共通の条件下で、各国の文化や立場を背景にそれぞれの9月11日を描く。

講師:岡真理先生(京都大学大学院人間・環境学研究科)

## 健康デー第2弾

初夏の陣5月にあった健康デーが帰ってくる!  
今回はもっとじっくりとヨガ・太極拳をしてみませんか?



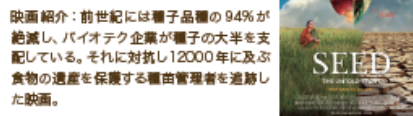
## エコ回向企画 2018 「浴衣着付け教室」京都着物企画

日時	6月12日(火)・19日(火) 女性 18:15～19:00 6月14日(木) 男性 いづれも18:15～19:00
場所	京都大学本部構内物産系教養棟 北館7階 706・707号室
参加費	ご自身の浴衣ご持参の場合無料 (お持ちでない場合、クリーニング代として500円)
参加方法	事前メール申込 (件名「浴衣着付」とし、希望の日月をお書きください)

日本独特の目を見張るような美しさを決して失うことがない、それにもかかわらず単調で眠ってしまっている着物たち…。この夏こそ、まずは浴衣から着れるようになりませんか?  
※昨年度からエコーと京大では、「京都着物企画」として浴衣の持ち主から欲しい人の手へと渡し、そうした人と人の繋がりを通じて着物の魅力に再び光をあてるKistoryを展開しています!今年も着物・参加者募集!

## Conserv Session 映画 『Seed -The untold story』

日時	6月23日(土) 15:00～17:30
場所	京大北部キャンパス理理学部 セミナーハウス
申込	不要



映画紹介:前世紀には種子品種の94%が絶滅し、バイオテック企業が種子の大半を支配している。それに対抗し12000年に及び食物の遺産を保護する種子管理者を道徳した映画。

## 京町屋ワインサロンで宇宙の話

日時	6月8日(金) 19:30～
場所	京都・西郷のワインサロン yu-an
参加費	一般 2000円、学生 1000円 (ドリンク1杯と食事つき)

京都市立芸術大学美術学部の藤野明先生らと宇宙についてのちと話をする会です。



他イベントも多数あります!

## 第31回京都大学地球環境フォーラム 「ムラのつながり・ムラの未来」

日時	6月2日(土) 13:30～16:15
場所	京都大学北部構内 理学部セミナーハウス
参加費	無料

高齢化が進むムラが増える中で、その持続可能性の維持に重要となるのがムラをとりまく「つながり」です。農村計画学、社会ネットワーク科学、社会心理学の3つの観点からムラのつながり「今」と「未来」を考えます。申込はこちらから直接お申し込みください!(先着100名)  
<https://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/form/geforum31/>

## ようこそ!エネルギー・環境の研究室へ

日時	6月9日(土) 10:00～13:00
場所	時計台記念国際交流ホール及び研究室
参加費	無料(昼食付)
対象	大学学部生(大学院生も可)

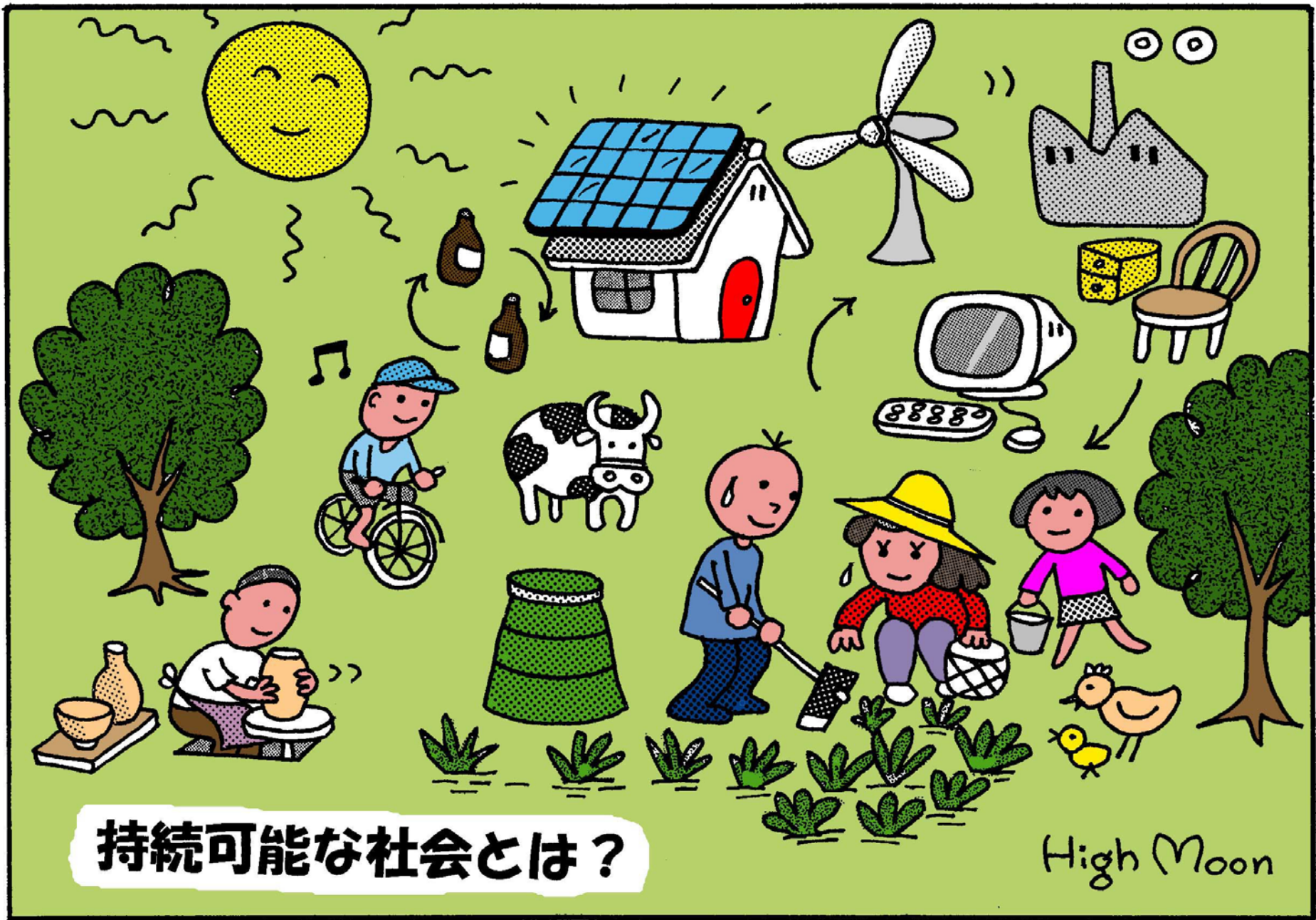
京都大学大学院エネルギー科学研究科、エネルギー社会・環境科学専攻が行うオープンラボ。エネルギー・環境研究に関する8つのテーマから3つを選んで見学します。13時からは入試説明会もあります!申込はこちらに直接メールお願いします!(締め切り6月4日)  
[syakai\\_yushii@energy.kyoto-u.ac.jp](mailto:syakai_yushii@energy.kyoto-u.ac.jp)



# SDGs(17の視点)の活用アイデア

何を持続させたいのか？

	ラベリング(17項目との関連性を整理)	統合的(複数の項目を総合して分析)
社内経営	<ul style="list-style-type: none"><li>○現在の職場・労働環境、取引先との関係等の見直し</li><li>○地域との活動の見直し</li></ul> →経営計画、SDGs報告	<ul style="list-style-type: none"><li>○将来の社会変化も見据えた職場・労働環境、取引先との関係等の検討</li></ul> →中長期(経営)ビジョン・計画
製品・サービス	<ul style="list-style-type: none"><li>○既存の製品・サービスの見直し・改善</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○製品・サービスの将来展開、地域・社会における位置づけの見直し</li></ul>



持続可能な社会とは？

High Moon